

(案)

平成30年住宅・土地統計調査試験調査（概要）

調査の目的

- 平成30年住宅・土地統計調査の実施に先立ち、調査事項の選定・適否、調査票の様式・設計の適否、調査方法の適否、その他同調査の実実施計画の立案に必要な事項を実地に検討する。

検討事項

- 調査事項の適否
 - ・新規調査事項等のワーディング、誘導による記入率の検証
- 調査関係書類の設計の適否
 - ・オンライン調査ガイド、郵送提出用封筒等の設計の検証
- 調査の方法
 - ・オンライン調査へのインセンティブの検証
 - ・郵送提出導入における調査手法等の検証
- その他問題点の把握

調査の概要

- 調査日：平成29年7月上旬
- 調査地域：10市町、120調査区、調査員30人
- 調査の対象：調査単位区内から抽出した住宅及び住宅以外で人が居住する建物並びにこれらに居住している世帯（2,040住戸・世帯）

○主な調査事項：

●住宅等に関する事項

居住室数及び広さ、所有関係、敷地面積、構造、建て方、建築時期、家賃又は間代 等

●世帯に関する事項

世帯の構成（世帯人員数、性別、年齢等）、年間収入、通勤時間、入居時期、前住居 等

●住環境に関する事項

安全性、快適性 等

●現住居以外の住宅及び土地に関する事項

所有関係、面積及び利用に関する事項 等

○調査の方法：＜調査票の配布方法＞

調査員は、調査単位区内を隈なく巡回し、全ての住戸を把握する。その上で、市町村において抽出された住戸（17戸）に対して、オンライン調査書類と紙の調査票を同時に配布する。

＜調査票の提出（回答）方法＞

オンライン回答、記入済の調査票について、調査員にそのまま提出する方法、調査票を封筒に入れて封をして調査員に提出する方法又は郵送により提出する方法のいずれかを選択して回答する。



○事務の流れ：

